

失敗しない海外監査の進め方

— 海外出張型の監査を中心に事前準備から計画、往査および報告まで —
「内部監査実務マスター・コース」〔第6回開催分（全9会合）〕

- 日時 ● 2017年2月14日（火）14:00～17:00
- 会場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

30年余りの大手監査法人勤務のうち、前半は主に会計監査に従事し、後半は国内外の数多くの企業に対する内部監査の支援やコンサルおよび外部評価、J-SOX・US-SOXの内部統制支援、不正調査およびリスク管理等のアドバイザリー業務の経験を経て、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任し、現在はUDトラックス株式会社監査役/ABボルボのコーポレートオーディット・ダイレクターとして監査実務を継続中。一方で内部監査関連の執筆や講演活動にも従事、豊富な実務経験をベースに具体的事例を交えた実践的でわかりやすい語り口で好評。最近の著書「内部監査の課題解決法20」税務経理協会、論文「海外監査の検討課題～成熟度レベルに応じた問題認識と対応」一般社団法人日本内部監査協会「月刊監査研究」2013年11月号、「リスクマネジメントに対する内部監査の対応～最適化シナリオに向けて」同2012年3月号掲載。公認会計士、公認内部監査人、米国公認会計士（現在 inactive）。

●プログラム●

●講義／失敗しない海外監査の進め方 <14:00—16:00>

海外子会社の内部監査には言葉の壁や法制度や文化の違いなど国内とは勝手が違う難しさがあるため、一段と高い監査の対応能力が求められます。しかしそこには進め方のコツがあって、問題となりやすい課題ごとに対応策を講ずることで失敗を避け、監査の出来栄も目に見えて良くなるでしょう。

今回はグローバル経営という観点から内部監査は海外で何を監査すればよいかという点をまず取り上げます。それから海外監査の中でも一般的な海外出張型の内部監査を中心に、海外監査を成功に導く実務上の留意点を解説します。とりわけ海外で問題になりやすい事項を中心に、監査の事前準備から計画、往査および報告までの全工程を視野に入れて実務経験を踏まえて検討していきます。また、中長期的な視点からの海外監査の監査体制のあり方も検討します。

1. グローバル経営を支援する内部監査のあり方
2. 海外監査チームによる海外監査の課題と対応策
— チーム編成、事前アレンジ、作業ステップと日程管理、監査アプローチなど —
3. 海外監査に特徴的な問題対応
4. 海外監査の成熟度に合わせた監査体制構築のポイント

●講義をベースとしたディスカッション&総括コメント <16:00—17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	28,080円	一般	31,320円
-----	---------	----	---------

[本体価格 26,000円 本体価格 29,000円]

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。
※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者をご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（社）企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516 / FAX 03-5215-0951～2

160188	2017 2/14 内部監査実務マスター・コース		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			